

## 未来の働き方をデザインしよう

「賢いエネルギーの使い方」で豊かな暮らしを「を紐解くヒント

石田秀輝 古川柳蔵 コクヨ(株)RDIセンター 著

日刊工業新聞社 2011年



## 赤池 学 (あかいけ・まなぶ)

推薦者

(株)ユニバーサルデザイン総合研究所所長。1958年東京都生まれ。社会システムデザインを行うシンクタンクを経営し、環境・福祉対応の商品・施設・地域開発を手がける。「生命地域主義」「千年持続学」「自然に学ぶものづくり」を提唱し、地域資源を活用した数多くのものづくりプロジェクトにも参画。製造業技術を中心とした執筆、評論にも取り組み、(社)環境共創イニシアチブの代表理事も務める。グッドデザイン賞金賞、JAPAN SHOP SYSTEM AWARD 最優秀賞、KU-KAN賞2011など、数多くのデザイン顕彰も受けている。

商品や施設、地域開発を手がけてきたデザイナーの私が、最も大切にしていることは、望まれていながら、これまでにはなかった新しい価値やビジネスモデルを、「構想」することである。そのために心がけていることは、現状や現実を肯定せず、理想やミッションから立ち返ってソリューションを考える、「バックキャスト思考」である。

様々な環境問題の解決や、スマート社会の実現を考える時にも、このバックキャストが大きな意味を持つ。それは、「一個の地球」から立ち返る社会システムのリデザインや、私はこう生きたいという理想から明日のアクションを構想することだ。

自然に学ぶネイチャーテクノロジーや、持続可能なライフスタイルを研究している、この本の筆者らも、来るべき資源とエネルギー制約、人間らしい暮らしやビジネスのあり方からバックキャストし、これからのチャーミングな働き方を提言している。

私たちは、1日の3分の1を職場で過ごし、通勤や残業を加えると、1日の半分以上を働く時間で消費している。そこに、これから望まれる「少エネルギー社会という制約」をかけた時、どんなワークスタイルが現出するかを、本書は夢を含めて語り出しているのだ。

例えば、現在のオフィスでは、750ルクス以上の照明が採用されている。しかし、そこに個人で自由に照度を選べるシステムを導入した三菱地所の新丸ビルは、照明エネルギーの6割削減に成功した。クリエイティブクラスの人々ほど、明るい照明を嫌い、自然に開かれたパッシブエコな空間で景色を楽しみながら、創造的に働いていることも明らかになった。

欧米では最近、「グリーンオフィス」が台頭してきた。風、光、緑を感じられるパッシブエコなオフィスや、ガーデンに建てられた温室会議室などだ。日本でも「川床カフェ」があるように、水を感じられる「川床会議室」がウォーターフロントに作られたら素敵だ。

オフィスビルの空きスペースに、料理教室などのカルチャースクールを入れれば、半働半遊のワークスタイルも普及する。太陽の光を最大限に活用するため、日の出からお昼まで働く「午前ワーク」を認めれば、「午後レジャー」も楽しめるようになる。

人間らしい生き様から発想すれば、賢いエネルギーの使い方は自ずと生まれてくる。エネルギー制約が生み出すクリエイティブライフを、本書の「構想」から学んで欲しい。

CEL

## Books : editor's choice

- 『暮らしの中のエネルギー—環境にやさしい選択』岩船由美子 オーム社(2001)
- 『環境先進国ドイツの今—緑とトラムの街カールスルーエから』松田雅央 学芸出版社(2004)
- 『楽しい非電化—エコライフ&スローライフのための』藤村靖之 洋泉社(2006)
- 『エネルギーを読む』芥田知至 日本経済新聞出版社(2009)
- 『エネルギーの事典』日本エネルギー学会 朝倉書店(2009)
- 『エネルギーシフト—太陽光発電で暮らしを変える—社会が変わる』都筑建 旬報社(2010)
- 『低炭素社会におけるエネルギーマネジメント』村上周三、柏木孝夫、石谷久、中上英俊、茅陽一 慶應大学出版会(2010)
- 『100語でわかるエネルギー—ジャン=マリ・シュヴァリエ 白水社(2010)』
- 『節電の達人』村井哲之 朝日新聞出版(2011)
- 『文系人のためのエネルギー入門—考エネルギー社会のススメ』小池康郎 勁草書房(2011)
- 『エアコンのいらない家』山田浩幸 エクスナレッジ(2011)
- 『人は100Wで生きられる—だいち先生の自家発電「30W生活」』高野雅夫 大和書房(2011)
- 『あしたも、こはるびより。』つばた英子、つばたしゅういち 主婦と生活社(2011)
- 『今こそ、エネルギーシフト—原発と自然エネルギーと私達の暮らし』飯田哲也、鎌仲ひとみ 岩波書店(2011)
- 『始末のいい暮らし方—ムダの少ない、気持ちのいい毎日のために〜』阿部絢子 だいわ文庫(2011)
- 『国民のためのエネルギー原論』植田和弘、梶山恵司 日本経済新聞出版社(2011)
- 『エネルギー論争の盲点』石井彰 NHK出版(2011)
- 『わが家のエネルギー—自給作戦』枝廣淳子 エネルギーフォーラム新書(2012)
- 『これからのエネルギーのはなし』茂木源人 日本能率協会マネジメントセンター(2012)
- 『ゼロから見直すエネルギー』化学工学会緊急提言委員会 丸善出版(2012)